

さけ・ます通信 No.2

メタデータ	言語: Japanese 出版者: さけ・ます資源管理センター 公開日: 2024-03-05 キーワード: 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2000369

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



センター季刊紙

さけ・ます通信

平成15年（2003年）1月 [通巻2号]

発行/独立行政法人さけ・ます資源管理センター

技術指導情報

指導課

民間ふ化場等への巡回指導（9～12月）

< 北海道 >

北海道の民間ふ化場等に対し、9月から11月にかけては良質卵の確保に向けた捕獲、採卵、種卵の管理について、また、12月以降は健苗育成のための仔魚管理に関する技術指導を行っています。

特に、系群保全河川や増殖基盤維持河川の民間ふ化場では、それぞれの資源管理の目的に沿った指導を実施しました。指導は放流が終了するまで実施します。

< 本 州 >

本州関係県の民間ふ化場等に対し、10月から11月にかけては北海道同様に良質卵の確保に向けた捕獲、採卵及び種卵の管理について、また、12月以降は健苗育成のための仔魚管理について技術指導を行っています。

本年度において、一部の県では捕獲や採卵工程で作業方法の改善が行われたふ化場もあります。特に、親魚の取扱いや採卵・受精、卵の運搬、卵の管理方法が改善されたふ化場では、受精率、発眼率の向上が期待されます。関係県への技術指導は放流がほぼ終了する3月まで実施します。

ふ化放流技術マニュアル（仔魚、稚魚管理編）

指導課

仔魚を安静に保つ条件

適正な注水量と流速

仔魚管理では水の流れが偏らず均一であることが重要であり、養魚池では仔魚の発育状況に合わせて、注水量、水深、流速を調整します。即ち、仔魚の発育に応じて必要な酸素が供給され、仔魚の安静が保たれるように注水しなければなりません。

養魚池排水部の溶存酸素量は、常に5mg/l以上を保つように注意してください。

水の流れが速すぎると仔魚を動かし「い集」させ、また、養魚池の場合には、水深を深くし過ぎると水回りが悪くなり、結果的に窒息させることとなりますので、注水量と水深のバランスをとることが大切です。砂利を使用した養魚池では、算出された流速値が1cm/秒以下になるように水深（水深は砂利面からではなく、池底からの水深を用いてください。）を調整してください。

浮上槽の場合も、過剰な注水や水量の急激な変更は、同じように仔魚の安静を妨げますので注意してください。

【チェック】 養魚池（または飼育池）の流速の算出方法

$$\text{流速 (cm/秒)} = \frac{\text{注水量 (l/分)} \times 1,000}{\text{池幅 (cm)} \times \text{水深 (cm)}} \div 60 \text{ (秒)}$$

例 養魚池で注水量が100 l/分、池幅が170cm、水深が10cmの時の流速は、以下の計算になります。

$$\text{流速 (cm/秒)} = \frac{100 \text{ (l/分)} \times 1,000}{170 \text{ (cm)} \times 10 \text{ (cm)}} \div 60 = 0.98$$

養魚池用敷設材（砂利等）の使用

養魚池では全体的に整流を作る一方で、仔魚の身を隠す隙間を設け安静度を高めるために直径30～40mmの玉砂利を一層敷きます。（稚魚の入る隙間を空けること。二層、三層にする必要はありません。）

また、砂利の敷設が困難なふ化場では、砂利の代わりに仔魚育成用ネットリング等の代替品を利用していますが、これらは敷設や取り上げ作業が簡便であるという利点がありますが、敷設方法によっては仔魚が注・排水部へ移動しやすく、早期に浮上するなど、砂利に比べ仔魚管理が難しい一面もありますので、慎重な管理を心がけてください。

外部刺激の遮断

仔魚は光の進入や振動等の刺激に対して敏感に反応するため、外部からの刺激を出来るだけ与えないようにします。屋外養魚池では板などをかぶせ、また、屋内養魚池では窓をカーテンや雨戸等で光を遮断します。

仔魚の観察は懐中電灯を用います。作業時（卵の散布、養魚池用ふ化盆の撤去等）の照明や振動は必要最小限に留めてください。なお、作業時での光の影響を軽減するために、屋内での間仕切りカーテンや池の上をシート等で遮光しているふ化場もあります。

浮上槽では稚魚が浮上するまで、むやみには蓋を開けないようにしてください。

稚魚の管理方法

浮上した稚魚の管理は飼育池（または兼用池）で行います。この時期は内部栄養（さいのう＝卵黄）から外部栄養（人工飼料）への移行期で、遊泳機能と摂餌機能の基本ができあがる大切な時期です。単に魚体を大きくすることだけにとらわれず、遊泳力のある健全な稚魚を生産するため、良好な環境下において放流適期まで管理することが肝要です。

注水量による飼育可能量

水中の溶存酸素量は、稚魚の成長や生存に影響を及ぼす重要な要素です。飼育池用水の溶存酸素量が低くなると稚魚は苦しくて鼻上げするようになり、さらに低下すると窒息死します。

また、鼻上げが起こる限界ストレスの溶存酸素量では、稚魚の成長量、摂餌量や飼料効率等が低下したり病気にかかりやすくなる場合もあり、サケ稚魚の正常な成長のためには、池の排水部の溶存酸素量を常に5mg/lを下回らないこととし、極力6mg/l以上に保つよう努

めることが望ましいでしょう。

利用できる注水量に対して、最高どの程度まで稚魚を収容できるか、また、稚魚の収容量に対し最低どの程度の注水量が必要であるかを知ることは、稚魚管理では極めて重要なことです。下記の方法でチェックしてみたいかがでしょう。

【チェック】 必要注水量の算出方法

$$V = \frac{W \times K}{(C2 - C1) \times 0.7} \quad V : \text{注水量 (l/分)}$$

W : 収容量 (kg)

K : 稚魚の酸素消費量 (4ml/kg/分とする。)

(水温が高くなると酸素消費量が増えますので注意が必要です。)

C2 : 注水部の溶存酸素量

C1 : 排水部の溶存酸素量 (6mg/l以上を維持する。)

0.7 : mg/l (DOメーター読み取り値)をml/lに変換

例：水温10 で0.4gの稚魚400千尾収容した場合の必要注水量は？。注水部の溶存酸素量は10.0mg/lであった場合は以下の計算になります。

$$V (\text{l/分}) = \frac{(0.4\text{g} \times 400\text{千尾}) \text{kg} \times 4\text{ml/kg/分}}{(10.0\text{mg/l} - 6.0\text{mg/l}) \times 0.7} = \frac{640\text{ml/分}}{2.8\text{ml/l}} = 228.6 \text{ l/分} \quad 230$$

《参考》 上記の式を少し変化させて収容量の算出ができます。

$$W = \frac{(C2 - C1) 0.7 \times V}{K}$$

収容密度

過度の収容密度は溶存酸素量と同様に、稚魚の摂餌行動、成長量、飼料効率の低下などを招きます。サケ稚魚の飼育にあたり収容密度は 20kg/m^3 以下を基準とし、常に安全を確認しながら管理します。当然、飼育が進み魚体重が増えてくると収容密度がオーバーするので、別の池等に移し替えるなどの密度調整を行うことが必要となります。

飼育池の水の流れ

飼育池における水の流れは、池の上流から下流に向かって、なるべく左右均一になるよう調整が必要です。水の流れがどちらか一方に偏ると、水質環境の部分的な悪化を招く恐れがあります。飼育池の上流側では注水により渦や偏流等が生じやすくなります。水制装置(水制調整板)等を用いると流れをより均一にすることができますので、池の大きさや、注水量等に合わせて工夫してみてください。

サケ親魚標識の放流結果

本年度はサケ親魚の産卵回遊経路の解明のため、沿岸域と沖合域においてディスクタグによる標識放流を行いました。さらに、一部の親魚には合わせて、魚が回遊する環境データ（水温等）を記録できるアーカイバルタグ（外部装着式）の二重標識放流にも取り組みました。（下表）

現在、取りまとめ中ですが、沿岸漁業者や関係機関の高い関心と協力により、多くの標識魚が再捕されました。今後とも当センターの標識放流調査にご協力をお願いいたします。

調査場所	標識番号の 使用範囲	1回目 標識番号 実施月日 標識数	2回目 標識番号 実施月日 標識数	放流数 (尾)	放流数の内 アーカイバ ルタグ標識 数 (尾)
沿岸域標識放流（定置） オホーツク海区東部地区 （北海道知床半島沿岸）	NSRC 201～500	NSRC 201～374 10月21日 174		174	20
オホーツク海区西部地区 （北海道宗谷岬東沿岸）	501～800	501～650 9月19日 150		150	10
えりも以東海区東部地区 （北海道根室半島沿岸）	801～1100	801～950 (831欠番) 9月26日 149	NSRC 951～110 0 11月6日 150	299	20
えりも以東海区西部地区 （北海道えりも岬沿岸）	1101～1400	1101～1250 9月19日 150	1251～1329 11月5日 79	229	20
えりも以西海区胆振地区 （北海道地球岬沿岸）	1401～1700	1401～1550 9月19日 150	1551～1700 10月25日 150	300	20
日本海区南部地区 （北海道白神岬沿岸）	1701～2000	1701～1731,1800 (716欠番) 10月17日 31		31	20
沖合域標識放流（刺網） 日本海区北部地区 （北海道利礼沖合）	1～200	1～113 9月10～12日 113		113	20

生物モニタリング調査

本紙創刊号（平成14年9月発行）でお知らせしたとおり、さけ・ます類の系群特性を把握するとともに、資源評価等の基礎資料とするための生物モニタリング調査（耳石温度標識放流、系群特性モニタリング及び資源モニタリング調査）については、北海道及び本州の河川、産地市場にて計画どおり実施することができました。

特に、年齢組成のために必要な親魚の魚体測定、鱗の採取に関しては関係漁協、ふ化場等の皆様からご協力をいただきありがとうございました。本紙を借りて御礼を申し上げます。

本所・支所便り

民間増殖団体等からの研修員受入れ

頓別、敷生及び知内事業所では民間増殖団体（地区増協）からの要請により、研修員を受け入れています。現在、仔魚管理、稚魚管理や各種報告書の作成、データの収集と利活用等について特訓中です。（天塩・千歳・渡島支所）

また、本所及び千歳支所では（社）本州鮭鱒増殖振興会から、サケ増殖技術講習会（後期講習会）に係わる研修員の受入れ要請があり、1月29日～31日の3日間受け入れます。（指導課）

ふれあい広場からのお知らせ

千歳支所の常設展示施設「サケの里ふれあい広場（体験館）」では、12月からは自然産卵の観察水槽でサケの赤ちゃんが続々と誕生し、入館者の人気を集めています。自然産卵床の様子は常時観察できるようになっており、現在のところ、砂利の中では腹部に栄養の袋を付けた仔魚がじっとしている様子が見られます。これらは2月ころには砂利から出て（浮上）エサを食べ始めます。また、隣接しているミニふ化施設では、仔魚や稚魚を間近に観察でき成長の過程がよく分かるようになっています。詳しくは直接現地に問い合わせてください。（千歳支所、TEL 0123-23-2804）

ふ化放流技術者研修会（後期研修会）の開催

センター各支所では北海道内の民間技術者等を対象とした本年度第2回目のふ化放流技術者研修会（後期研修会）を1～2月に下記の日程で開催を予定しています。詳しくはセンター各支所へ問い合わせください。（各支所）

開催日程（予定）

担当	開催日	開催地	担当	開催日	開催地
北見支所	H15/2/中旬	網走市	天塩支所	H15/2/下旬	美深町
根室支所	H15/2/下旬	中標津町	千歳支所	H15/1/下旬	石狩市
十勝支所	H15/2/12	帯広市		2/月上旬	白老町
	2/14	釧路市	渡島支所	H15/1/下旬	八雲町

お知らせコーナー

さけ・ます資源管理センターホームページのご案内

当センタ - ではホームページ(<http://www.salmon.affrc.go.jp/>)で、さけ・ますに関する情報を提供しています。最近掲載した主な記事はサケ来遊状況（道県別、河川捕獲数、採卵数、沿岸漁獲数、沿岸来遊数）、さけ・ます流通情報（輸入情報、東京都中央卸売市場情報）等です。ホームページに関する問い合わせは企画課情報係まで。（TEL 011-822-2177）

平成13年度河川別サケ放流数について

北海道および本州関係県における河川別サケ放流数を添付しましたので、参考としてください。

編集後記

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいいたします。

昨年秋に実施した生物モニタリング調査では、北海道をはじめ本州関係県のみなさんにたいへんお世話になりました。おかげさまで計画どおりの調査が出来ました。お礼申し上げます。

さて、前号の技術マニュアルシリーズ（蓄養、採卵編）では良質卵の確保について記載しましたが、今シーズンの卵の質はいかがでしたか？。さぞや発眼率は向上したと思います。巡回指導での報告を期待しています。

今回は、時期的に仔魚と稚魚管理の留意点を掲載しました。仔魚管理では浮上時期までいかに安静に保てるか、稚魚管理では飼育環境をいかに良好に維持出来るかが健苗性を大きく左右します。今一度、環境面をチェックしてみてください。春には皆さんのふ化場から健康な稚魚が放流されることを願っています。（浅）

本紙に関するご意見、ご要望につきましては下記へご連絡下さい。なお、皆さんに投稿をお願いする場合がありますので、その際にはご協力をお願いします。

編集/担当 独立行政法人さけ・ます資源管理センター/指導課

〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条2丁目4-1

TEL 011-822-2131（代表）、011-822-2161（指導課）、FAX 011-823-8979

E-メール technical_advice_division@salmon.affrc.go.jp（指導課）

平成13年度北海道における河川別サケ放流数

海区	地区	放流水系	放流数(千尾)			備考	海区	地区	放流水系	放流数(千尾)			備考	
			河川	海浜域	計					河川	海浜域	計		
オホーツク	東部	ルンパ	1,000		1,000		えりも以東	東部	チャラベツ	3,200		3,200		
		岩尾別	5,900		5,900				幌戸	2,600		2,600		
		遠音別	1,000		1,000				新川	800		800		
		奥藻別	4,100		4,100				藻敷布	3,500		3,500		
		斜里	30,900		30,900				別寒辺牛	5,800		5,800		
		網走東部		3,500	3,500				釧路東部		4,900	4,900		
		止別	5,700		5,700				チヨロベツ	2,100		2,100		
		トーフツ	1,000		1,000				釧路	56,900		56,900		
		藻琴	8,000		8,000				庶路	4,600		4,600		
		網走	33,300		33,300				茶路	8,300		8,300		
	中部	網走南部		8,100	8,100			釧路西部		2,000	2,000			
		常呂	12,400		12,400			西部	音別	7,400		7,400		
		湧別	24,700		24,700				厚内	1,500		1,500		
		網走西部		6,600	6,600				十勝	60,200		60,200		
		清滑	11,400		11,400				十勝北部		3,000	3,000		
		雄武	2,000		2,000				当縁	1,800		1,800		
		幌内	8,300		8,300				歴舟	11,400		11,400		
		網走北部		15,800	15,800				小紋別	4,000		4,000		
		徳志別	11,200		11,200				豊似	3,100		3,100		
		北見幌別	5,600		5,600				楽古	7,800		7,800		
問牧	1,300		1,300		広尾	13,200			13,200					
西部	宗谷西部		2,100	2,100		音調津	2,300		2,300					
	頓別	7,200		7,200		猿留	7,300		7,300					
海区計		3,400	3,400		海区計	207,800	9,900	217,700						
日本海	北部	東ノヅマリ	1,000		1,000		えりも以西	日高	歌別	7,700		7,700		
		寿川	3,300		3,300				仁雁別	3,500		3,500		
		朝日	1,500		1,500				様似	1,300		1,300		
		大沢	600		600				日高幌別	8,400		8,400		
		増幌	3,900		3,900				元浦	3,600		3,600		
		宗谷南部		8,900	8,900				三石	4,400		4,400		
		天塩	16,500		16,500				静内	8,700		8,700		
		遠別	4,600		4,600				新冠	3,800		3,800		
		風連別	1,100		1,100				厚別	900		900		
		羽幌	1,800		1,800				沙流	3,900		3,900		
	中部	小平藻	1,100		1,100			胆振	鷗川	2,300		2,300		
		信砂	3,800		3,800				錦多峰	3,900		3,900		
		暑寒別	8,000		8,000				社台	800		800		
		留萌南部		1,500	1,500				白老	7,300		7,300		
		浜益	3,000		3,000				敷生	8,600		8,600		
		厚田	2,000		2,000				アノコ	4,200		4,200		
		石狩	27,100		27,100				登別	2,600		2,600		
		余市	6,100		6,100				千舞別	1,300		1,300		
		古平	5,200		5,200				気仙	900		900		
		美国	600		600				長流	4,200		4,200		
南部	積丹	2,400		2,400		貫気別	7,100		7,100					
	後志北部		1,000	1,000		胆振西部		1,500	1,500					
	古宇	2,500		2,500		静狩	2,000		2,000					
	盃川	500		500		長万部	1,600		1,600					
	野束	6,000		6,000		国縫	1,700		1,700					
	尻別	7,000		7,000		遊楽部	16,600		16,600					
	朱太	7,200		7,200		落部	3,000		3,000					
	泊川	2,000		2,000		鳥崎	5,900		5,900					
	千走	3,000		3,000		尾白内	1,800		1,800					
	後志南部		600	600		渡島北部		2,000	2,000					
根室	北部	利別	12,000		12,000		道南	鹿部	3,100		3,100			
		良瑠石	1,000		1,000			常路	900		900			
		見市	4,000		4,000			大船	4,600		4,600			
		相沼内	3,800		3,800			矢尻	3,100		3,100			
		檜山北部		9,000	9,000			渡島南部		1,500	1,500			
		厚沢部	9,000		9,000			尻岸内	7,700		7,700			
		天の	7,400		7,400			原木	2,500		2,500			
		小鴨津	1,000		1,000			汐泊	8,500		8,500			
		及部	3,600		3,600			大野	1,400		1,400			
		檜山南部		5,500	5,500			戸切地	11,500		11,500			
	海区計	163,600	26,500	190,100		茂辺地	8,700		8,700					
	中部	大当別	2,000		2,000		海峽西部	大当別	2,000		2,000			
		亀川	3,600		3,600			亀川	3,600		3,600			
		木古内	1,000		1,000			木古内	1,000		1,000			
		知内	10,000		10,000			知内	10,000		10,000			
		福島	4,400		4,400			福島	4,400		4,400			
		海峽西部		600	600			海峽西部		600	600			
		海区計	195,000	5,600	200,600			海区計	195,000	5,600	200,600			
		南部	元崎無異	13,500		13,500			北海道計		937,200	82,000	1,019,200	
			薫別	10,500		10,500								
忠類			5,200		5,200									
伊茶仁	8,100			8,100										
標津	39,200			39,200										
当幌	10,100			10,100										
春別	2,900			2,900										
床丹	8,000			8,000										
西別	44,200			44,200										
風蓮	8,900			8,900										
別当賀	7,000		7,000											
海区計	192,400	3,900	196,300											

注：放流数は100千尾単位として整理した。放流水系欄の は海中飼育等実施沿岸域を示す。

平成13年度本州関係県における河川別サケ放流数

海区	県	地区	放流水系			備考	海区	県	地区	放流水系			備考		
			河川	海浜域	計					河川	海浜域	計			
太平洋	青森	太平洋	新井田	8,200		8,200	日本海	青森	日本海	若木	800		800		
			馬淵	15,000		15,000				鯉ヶ沢		2,600	2,600		
五戸			1,400		1,400	青森赤石				6,900		6,900			
奥入瀬			28,100		28,100	大戸瀬					6,600	6,600			
六ヶ所				1,000	1,000	追良瀬				7,800		7,800			
東通老部			11,000		11,000	深浦					2,000	2,000			
八戸市南				300	300	笹内				7,300		7,300			
階上町				100	100	小計				22,800	11,200	34,000			
津軽海峡			大畑	4,300		4,300				秋田	県北部	真瀬	1,800		1,800
陸奥湾			川内	9,000		9,000						米代	2,700		2,700
	野辺地	11,400		11,400	野村	2,700		2,700							
	清水	6,500		6,500	県中部		500	500							
	蟹田	1,100		1,100	北浦漁港			500							
小計		96,000	1,400	97,400	雄物	2,500		2,500							
県計		118,800	12,600	131,400	君ヶ野	1,600		1,600							
					衣川	1,500		1,500							
					子吉	4,000		4,000							
					西目	1,200		1,200							
太平洋	岩手	県北部	川尻	3,500		3,500	新潟	下越	山北大川	1,100		1,100			
			有家	12,000		12,000			勝木	1,500		1,500			
高家			2,200		2,200	三面			7,900		7,900				
岩手久慈			22,600		22,600	荒川			2,100		2,100				
久慈湾				5,700	5,700	胎内			500		500				
宇部			19,300		19,300	加治			1,800		1,800				
安家			26,300		26,300	阿賀野			3,100		3,100				
普代			14,000		14,000	信濃			8,700		8,700				
明戸			8,000		8,000	谷根			1,400		1,400				
小本			25,000		25,000	槽川			600		600				
根待	18,000		18,000	桑取	500		500								
田老	22,000		22,000	名立	3,300		3,300								
					能生	3,000		3,000							
					姫川	3,500		3,500							
					田海	700		700							
					県計	39,700	0	39,700							
					富山	富山	小川	1,500		1,500					
							黒部	4,800		4,800					
							片貝	1,900		1,900					
							早月	4,300		4,300					
							常願寺	200		200					
							神通	3,700		3,700					
							庄川	11,900		11,900					
							小矢部	1,900		1,900					
							県計	30,200	0	30,200					
							石川	内浦	内浦		400	400			
					外浦	200				200					
					手取	8,200				8,200					
					県計	8,400	400	8,800							
					海区計		174,000	12,900	186,900						
					本州計		797,200	40,400	837,600						
太平洋	宮城	気仙沼	気仙沼大川	8,500		8,500	福島	県北部	福島阿武隈	100		100			
			大川地先		1,600	1,600			宇多	1,900		1,900			
			小泉(津谷)	8,500		8,500			真野	3,300		3,300			
			八幡、水尻	7,500		7,500			新田	1,700		1,700			
			八幡川地先		1,100	1,100			小高	900		900			
			水戸辺	2,400		2,400			県中央						
			水戸辺川地先		1,100	1,100			請戸	15,300		15,300			
			宮城北上	13,400		13,400			熊川	6,500		6,500			
			大原	3,000		3,000			富岡	1,100		1,100			
									木戸	15,300		15,300			
					夏井	600		600							
					鮫川	3,000		3,000							
					県計	49,700	0	49,700							
					茨城	茨城	常陸久慈	1,500		1,500					
							那珂	1,000		1,000					
							利根	500		500					
					県計	3,000	0	3,000							
海区計			623,200	27,500	650,700										

注:ふ化放流事業実施県の掲載した。放流数は100千尾単位で整理した。数値は8月16日現在および12月末現在の集計値を使用した。放流河川欄の 海中飼育等実施沿岸域を示す。